

# 牧草と園藝



# 放牧型品種の選定

オーチャードグラス品種の放牧型刈取りによる地域別収量比較 (%)

品 種	地 域	道 北	道 東	十 勝	道 央	全 地 域
	試 験 場	天 北	根 釧	新 得	滝 川	
		天 塩	北 見		中 央	
					北 農	
キ タ ミ ド リ		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
フ イ ロ ッ ク ス		91.6	88.3	85.3	97.0	92.0
マ ス ハ ー デ ィ		86.6	94.6	93.3	94.0	92.2
ド リ ー ゼ		90.0	84.8	84.1	89.6	87.8

(注) 年間5～7回刈, 昭44～47, 4年間合計

オーチャードグラス品種別の季節生産性

	品 種 名	1 番 草	2 番 草	3 番 草	4 番 草	5 番 草	合 計	割 合
収風乾 量草 (kg/a)	キ タ ミ ド リ	29.4	29.0	28.7	30.4	23.3	140.8	100
	フ イ ロ ッ ク ス	21.7	32.1	27.8	29.8	26.9	138.3	98
	マ ス ハ ー デ ィ	21.9	31.7	24.6	27.6	20.3	127.1	90
	ド リ ー ゼ	21.0	24.9	23.2	26.0	23.2	118.3	84
比同 率上 (%)	キ タ ミ ド リ	21	21	20	22	16	100	—
	フ イ ロ ッ ク ス	16	22	20	22	20	100	—
	マ ス ハ ー デ ィ	18	25	19	22	16	100	—
	ド リ ー ゼ	18	20	20	22	20	100	—

(注) 滝川畜試 昭45～47, 3ヵ年平均

◎ チモシー、オーチャードグラス等各草種には放牧型品種と採草型品種があり、放牧型品種は季節生産性が均等で、再生力が旺盛なことが特徴で、現在、オーチャードグラスの放牧型品種については次のように指定されています。

奨励品種 全道一円 「キタミドリ」  
準奨励品種 道北、道央、道南 「フィロックス」  
「ドリーゼ」

十勝以東の道東 「マスハーディ」

特に、「フィロックス」は放牧専用品種であり、「マスハーディ」は耐寒性の強い品種です。

◎ チモシー「オムニア」は分けつ数多く、多葉性で、再生力旺盛で採草放牧兼用品種です。

◎ ペレニアルライグラスは品種間差が大きく従来の「普通種」に対し4倍体の「マンモスペレニアル」は多収で、病害に強く、持続性が良好な放牧型品種です。

◎ メドウフェスクは現在、急速に普及しつつあ

る草種ですが、耐寒性の強い「トレーダー」は晩生で、秋おそくまで安定した草量を生産できる多収性放牧型品種です。

◎ ケンタッキーブルーグラスは放牧草種として利用価値大であるが、最近サビ病の発生が問題となっている。「フィルキング」は耐病性強く、再生力旺盛で、嗜好性も良好です。(うえはら)



放牧型適品種のオーチャードグラス「フィロックス」